

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社リクルートホールディングス（証券コード:6098）

【据置】

長期発行体格付	AA+
格付の見通し	安定的

■格付事由

- リクルートグループの純粋持株会社。グループは HR テクノロジー、人材派遣、マーケティング・マッチング・テクノロジー（MMT）の 3 つの戦略ビジネスユニット（SBU）で構成される。当社はグループ全体の戦略立案や経営管理を担う。SBU に対するガバナンス状況から、グループの一体性が認められ、格付にはグループの信用力を反映させている。グループは、主に人材マッチング市場で業界をリードするポジションにある。個人と企業をつなぐプラットフォームを基盤に、テクノロジーを活用して、競争優位性を確保している。「Indeed」を展開する HR テクノロジーを中核に、分散が効いた収益基盤を構築する。
- 今後も強いキャッシュフロー創出力を保てる見通しである。人材や販促に関する事業を手掛ける特性上、経済成長および労働市場の影響を受けやすい。しかし、米国を中心に採用需要が停滞する中でも、プロダクトの進化や事業運営の効率化などに支えられ、当社定義の EBITDA+S は拡大基調にある。引き続き、求職者と企業のマッチング精度を高めていくことにより、HR テクノロジーを中心とする成長は可能とみられる。また、健全な財務基盤を有する。以上を勘案し、格付を据え置きとし、見通しは安定的とした。
- 27/3 期（IFRS）の EBITDA+S（当社定義）は 11,050 億円（前期比 39.1%増）の計画である。28/3 期以降も堅調な業績推移が見込まれる。HR テクノロジーは、事業運営の効率化に取り組み、米国の採用需要が停滞する中でもキャッシュフローを確保できる体制を構築してきた。足元、採用需要が底打ちしつつあるほか、プロダクトの進化により高単価サービスの利用が増えており、売り上げが拡大している。採用効率を高めるサービスへの需要は強く、引き続き、HR テクノロジーの成長が予想される。また、人材派遣も事業運営は順調である。さらに、MMT についても流通取引総額に連動する課金体系の導入が成長の原動力となるだろう。
- 26 年 6 月末の親会社の所有者に帰属する持分は 1.7 兆円、親会社所有者帰属持分比率は 61.0%、実質無借金である。キャピタルアロケーション方針に変更はない。期末の現預金を 7,500 億円程度に維持しながら、既存事業の成長投資費用、HR テクノロジーの成長に資する戦略的 M&A や自己株式取得へ資金を活用していくことが見込まれる。規律ある財務運営が行われており、強固な財務基盤に変化は生じないだろう。

（担当）本西 明久・安部 将希

■格付対象

発行体：株式会社リクルートホールディングス

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA+	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年9月9日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：里川 武
主任格付アナリスト：本西 明久
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）、「持株会社の格付方法」（2025年4月2日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） 株式会社リクルートホールディングス
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル